

歌舞伎舞踊

「静と動の妙」

「素踊りの名手」

谷口裕和の世界



長唄 七福神

創作 森羅凱風

SHINRA GAIFU パイプオルガンで舞う

A.ヴァネス・鏡、B.マッター・コラール「われ神より離れず」による幻想曲、K.ヨシセン・賛美

長唄 船弁慶「静と知盛」

写真/田口 真佐美

舞踊 谷口裕和
 長唄 松永忠次郎 連中
 松永忠次郎 連中
 鳴物 松永忠次郎 連中
 堅田新十郎 社中

笛

福原寛

パイプオルガン

大平健介

解説

葛西聖司

2023.1.28 (土)

14:00開演 (13:00開場) サラマンカホール 岐阜市藪田南5-14-53

◆関連講座

葛西聖司の最新!歌舞伎事情

2023.1.7(土) 14:00~16:00(受付開始13:30) 【限定80名】500円
 OKBふれあい会館 3F 301中会議室

※申し込みは、サラマンカホールチケットセンター (058-277-1110) またはサラマンカホールホームページから。

全席指定

S席 5,000円 バルコニー席 2,000円

[サラマンカメイト S席 4,500円 バルコニー席 1,800円]

※学生半額 (30歳まで)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取り扱いです。

主催:サラマンカホール

サラマンカメイト先行発売: 2022年10月28日(金) / 一般発売: 11月4日(金) ※ 電話・インターネット 9:00~ / 窓口 12:00~

チケットのお求め | サラマンカホール チケットセンター

058-277-1110 [9:00~21:30]

チケットぴあ

http://t.pia.jp
 Pコード: 516-045

e+ イープラス

http://eplus.jp
 Famiポート

ネット予約は公式サイト「サラマンカ・オンラインチケット」で

サラマンカホール

検索



【ご来場の皆様へ】新型コロナウイルス感染防止対策ご協力のお願い
 本公演は、国・県・業界団体のガイドラインに則って開催いたします。
 ご来場の際は、マスクの着用、手指消毒等のご協力をお願いいたします。
 詳しくはサラマンカホール公式サイト、当日の館内掲示にてご確認ください。



谷口裕和は、飛騨高山に1794年から続く、国指定重要文化財でもある料亭で、传统文化の粋に囲まれて育った日本舞踊家です。人間国宝の西川扇藏、舞踊家・振付師の梅津貴昶に師事した後、流派に属さない舞踊家として、本名の谷口裕和で独立。

特別な衣裳をまとわず、紋付き袴でさまざまな役柄を表現する「素踊り」の名手として知られ、東京と飛騨高山に稽古場をもち、若手の歌舞伎俳優をはじめとする多彩な分野の弟子たちを指導。また歌舞伎舞踊の振付なども手掛けています。谷口裕和の素踊りは、古典をその芸術の精髓にまで削ぎ落として表現します。

今回その谷口裕和が長唄囃子連中の演奏で古典舞踊の大曲と、サラマンカホールのパイプオルガンの演奏との和洋のコラボレーションにより、美濃と飛騨の自然をテーマにした創作舞踊を演じます。

谷口 裕和 [舞踊] Hirokazu Taniguchi

昭和52年飛騨高山生まれ

220年以上続く料亭に育ち、人間国宝西川扇藏(せんぞう)、梅津貴昶(たかあき)に師事し、26歳の時、流派に所属しない舞踊家として、本名にて活動をはじめ、東京と飛騨高山を拠点に一門の『菁風会』を主催。

毎年国立大劇場やGINZA SIXなどで「谷口裕和の会」を開催。「京鹿子娘道成寺」「鶯娘」「種蒔三番叟」「関の扉」「吉原雀」「二人枕久」などを上演。紋付き袴姿で踊る素踊りを得意とし、一番シンプルでありながら、大変に技量が問われる芸に定評がある。

歌舞伎俳優市川中車をはじめ、未来の歌舞伎の担い手もある片岡千之助、市川團子、また俳優、女優、芸者と広い分野で指導に勤める。

2021年1月新橋演舞場での「海老蔵歌舞伎」では市川ぼたんの「藤娘」海老蔵(現團十郎)・歡玄(現新之助)による「橋弁慶」の指導。

2021年3月大阪、京都カルティエアンバサダー片岡千之助「一調一管 石橋」振付。2022年3月熊本八千代座「雨の五郎」市川勲玄(現新之助)、「手習子」市川ぼたん指導。



大平 健介 [パイプオルガン] Kensuke Ohira

横浜市出身。東京藝術大学及び同大学院卒業。2010年よりDAAD給費留学生として渡独。ヴェルツブルク及びミュンヘン音楽大学にて教会音楽と現代音楽を学ぶ。2013年国家演奏家資格取得、文化庁新進芸術家海外研修員。2016年IONニュルンベルク国際オルガンコンクール優勝(ヨハン・パッヘルベル賞受賞)。2018年、バーデン=ヴェルテンベルク州主教会-シュティフツ教会専属オルガニストに就任。以後2020年まで、カントールのカイ・ヨハンセンと共に多岐に渡る音楽プロジェクトに携わった。2021年に日本へ完全帰国し、現在は日本キリスト教団聖ヶ丘教会首席オルガニスト及び明治学院大学横浜主任オルガニストを務める。2022年、アンサンブル室町芸術監督に就任。



葛西 聖司 [解説] Seiji Kasai

古典芸能解説者
NHKアナウンサー時代の体験を生かし、歌舞伎、文楽、能狂言、日本舞踊、邦楽など古典芸能の解説や講演を全国で展開している。
「僕らの歌舞伎」(淡交社)「文楽のツボ」(NHK出版)「教養として学んでおきたい能狂言」「教養として学んでおきたい歌舞伎」(マイナビ新書)「名セリフの力」「ことばの切っ先」(展望社)ほか著書多数
国民文化祭に向けて地芝居大國さふ応援大使任命。早稲田大学公開講座、NHK文化センター、朝日カルチャーセンター講師 日本演劇興行協会理事 国立劇場評議員 石川県小松市曳山交流館名誉館長などを勤めている。

サラマンカメイトのご案内

特典

- チケットの先行販売
- チケットの割引(1公演2枚まで)
- ダイレクトメールによるコンサートのご案内
- グッズコーナーでの割引

※お電話(058-277-1110)入会申込書を郵送)および、インターネットでも受付しております。
※年会費2,000円
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。
※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場



自動車

- JR西岐阜駅から車で約5分(南口タクシー乗り場より約2km)
- JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分 ● 無料駐車場完備

終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します 正面玄関前(北側)から出発します。

公共交通機関

- JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
- 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- JR西岐阜駅(南口)より「西ぎふ・くるくるバス」で約12分
- JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分



客席のご案内

